

2016年1月6日

「デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016」

今春3月開催決定

協賛：ONA(オンライン・ニュース・アソシエーション)

～変化するメディア、そしてジャーナリズムの行方、生き方、ノウハウをグローバルに語り合い、共有する場を求めて～

JCEJ 主催「ジャーナリズム・イノベーション・アワード」併設

「デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016 実行委員会(以下、実行委員会)」(資料 1. 参照)は、デジタルジャーナリズムをめぐる世界最大級の非営利団体「オンライン・ニュース・アソシエーション(ONA)」(資料 2. 参照)の協賛を受け、2016年3月11日(金)、12日(土)の2日間にわたるカンファレンス「デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016」(以下、「フォーラム 2016」、資料 3. 参照)を開催することを決定しました。

メディアを取り巻く環境が激しく動いています。デジタル化はいうに及ばず、モバイル利用の一般化など、情報の伝播や共有手段の多様なイノベーションによりコンテンツを創り、伝え、体験する環境が、グローバルなスケールで大きく変化を遂げようとしています。

本「フォーラム 2016」は、このような環境の下、所属する組織や担当、ポジションなどの違いを超えて、変化するメディア、そしてジャーナリズムの行方、生き方、ノウハウをグローバルに語り合い、共有する場をめざして実施するものです。登壇する講演者には、内外の著名ジャーナリスト、エンジニア、メディア関連事業経営者らが登壇します。

主催団体である実行委員会は、実行委員世話人らの呼びかけに応えたメディア企業、テクノロジー企業、ジャーナリスト、学識者などが集い、また、多くのボランティアが企画および実施に関与する非営利団体です。

「フォーラム 2016」の意義を、実行委員会のメンバー(資料 1. 参照)の一人である瀬尾 傑(講談社)は以下のように述べています。

「メディアが転換点を迎える中で開催する今回のイベントは、取材現場を駆けずり回る記者、あるいは最新のテクノロジーや膨大なデータと格闘するエンジニア、アナリスト、そしてメディア企業やスタートアップの経営者といった、それぞれ違う立場でジャーナリズムにかかわる人たちが同じ場所に会することにもっとも意義があると考えています。IT技術やスキルを共有するだけでなく、その倫理や社会的な役割をあらためて議論しあう、そんなコミュニケーション空間の実現を目指します。」

また、協賛団体の ONA 事務局長ジェーン・マクダネル氏 (Jane McDonnell, Executive Director) は、本「フォーラム 2016」への期待を、以下のように述べています。

「ONA はデジタルジャーナリズム・フォーラム 2016 実行委員会とともに今春開催のフォーラムに向けて協業しメディアイノベーションを支援できることを嬉しく思います。また、東京で私達と同じような考えを持つ仲間によるコミュニティの構築や支援ができることを楽しみにしています。」

“ONA is delighted to work with the Executive Committee members of Digital Journalism Forum Tokyo to support media innovation at its upcoming Forum. And we’re looking forward to helping build and support a community of like-minded colleagues in Tokyo.”

実行委員一同は、急速にデジタル化がグローバルに同時進行していく現代社会において、社会の健全な発展のために果たすべきジャーナリズムのあり方へ、「フォーラム 2016」が貢献できることを強く期待しています。

カンファレンスのプログラム等は、詳細が決定次第、随時「フォーラム 2016」サイト (www.digitaljournalism.jp) にて発表してまいります。

■ デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016

日時：2016 年 3 月 11 日 (金)・12 日 (土)

会場：講談社 本館講堂・高層棟会議室

〒112-8001 東京都文京区音羽 2-12-21

東京メトロ 有楽町線護国寺駅下車 6 番出口から約 1 分

URL: <http://www.digitaljournalism.jp>

■ 本件に関するお問い合わせ先

デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016 実行委員会 広報担当 info@digitaljournalism.jp

資料 1. 「デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016」実行委員、協賛社、協力について

●実行委員(企業)

朝日新聞	執行役員 デジタル・国際・教育担当	大西弘美
一般社団法人共同通信社	デジタル推進局長	細田正和
株式会社講談社	第一事業局 第一事業戦略部 部長 編集長	瀬尾 傑
株式会社産経デジタル	代表取締役社長	鳥居洋介
株式会社時事通信社	取締役 編集局長	渡邊祐司
株式会社ダイヤモンド社	週刊ダイヤモンド編集長	田中 博
株式会社テレビ朝日	報道局 AbemaNews 担当局長	小木哲朗
株式会社テレビ東京	報道局長	加増良弘
株式会社東洋経済新報社	東洋経済オンライン編集長	山田俊浩
株式会社日本ビジネスプレス	JBpress 編集長	鶴岡弘之
日本テレビ放送網株式会社	インターネット事業局 局長代理	若井真介
ザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン株式会社	Huffington Post Japan 編集長	高橋浩祐
弁護士ドットコム株式会社	弁護士ドットコム ニュース編集長	亀松太郎
「ホウドウキョク」	株式会社フジテレビジョン 報道局 メディア担当局長	福原伸治
毎日新聞社	取締役 総合メディア戦略・デジタル担当	小川 一
読売新聞東京本社	取締役 メディア局長	福士千恵子
BBC ワールドジャパン株式会社	代表取締役 マネージング・ダイレクター	渡辺雄二
BuzzFeed JAPAN	Founding Editor	古田大輔
株式会社 TBS テレビ	報道局 担当局長次長	向山明生

●実行委員(個人)

評論家/シノドス編集長	荻上チキ
武蔵大学 社会学部教授	奥村信幸
在米ジャーナリスト/ハーバード大学ニーマンジャーナリズム財団役員	菅谷明子
早稲田大学 政治経済学術院教授	瀬川至朗
ジャーナリスト	田原総一郎
ジャーナリスト/ポリタス編集長	津田大介
『メディアの苦悩』編者/JIAA 常務理事	長澤秀行
法政大学 社会学部准教授/日本ジャーナリスト教育センター 代表運営委員	藤代裕之

●特別協賛・実行委員

スマートニュース株式会社	執行役員 メディア事業開発担当	藤村厚夫
株式会社ニュースピックス	代表取締役	梅田優祐
ヤフー株式会社	代表取締役社長	宮坂 学
.dmenu	株式会社 NTTドコモ プラットフォームビジネス推進部長.dmenu	熊谷宜和
グーグル株式会社	プロダクトパートナーシップ本部 出版コンテンツ アジア太平洋 統括部長	佐藤陽一
KDDI 株式会社	アライアンス推進部長	岩永充正
LINE 株式会社	代表取締役社長	出澤 剛
Twitter Japan 株式会社	代表取締役	笹本 裕

●協力

株式会社講談社・現代ビジネス (会場協力)		
株式会社サイバー・コミュニケーションズ	代表取締役社長	新澤明男
株式会社ソーシャルカンパニー	代表取締役	市川裕康

(お名前:敬称略・順不同)

資料 2. 「オンライン・ニュース・アソシエーション (ONA)」とは



オンライン・ニュース・アソシエーション(The Online News Association : ONA <http://journalists.org/>)とは、世界で最も規模の大きいデジタルジャーナリストの組織です。ONA のミッションはジャーナリストが公益のために従事するためのイノベーションや卓越さを支援することにあります。メンバーにはニュース記者、プロデューサー、デザイナー、ブロガー、開発者、写真家、教育者、学生、そしてその他ニュースを生み出し、デジタルな配信を支援する人などが含まれています。

ONA はまた毎年「オンライン・ニュース・アソシエーション・カンファレンス」(<http://ona15.journalists.org>)を開催、「オンライン・ジャーナリズム・アワード」(<http://journalists.org/awards/>)も運営しています。

資料 3.「デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016」概要

名称

デジタルジャーナリズム・フォーラム 2016

協賛: ONA(オンライン・ニュース・アソシエーション)

～変化するメディア、そしてジャーナリズムの行方、生き方、ノウハウをグローバルに語り合い、共有する場を求めて～

JCEJ 主催「ジャーナリズム・イノベーション・アワード」併設

開催概要

- 日時: 2016年3月11日(金)・12日(土)
- 会場: 講談社 本館講堂・高層棟会議室
- 集客規模(見込み): 有料来場者 400名以上
- 実施形態: 講演・パネルディスカッション・ワークショップ・展示・パーティ

「フォーラム 2016」の特長

- ジャーナリズムをめぐる最新の展開やテクノロジーやプラットフォームの動向を扱う一方、ジャーナリズムの現場感ある、実践的な課題を、内外の多彩なジャーナリズム関係識者が取り上げ語り合います。
- ワークショップをはじめ、“参加型”のセッションおよびイベント運営を重視し、運営者・登壇者・来場者に垣根のない交流と相互啓発を促進します。
- 2015年1月に開催され高い評価を得た、JCEJ主催「ジャーナリズム・イノベーション・アワード」を併設し、ジャーナリズムの最新のチャレンジを展示紹介し、その試みと成果を顕彰します。

会場アクセス:

株式会社講談社 〒112-8001 東京都文京区音羽 2-12-21

地下鉄 有楽町線護国寺駅下車 6番出口から約1分



講談社

資料 4. 「ジャーナリズム・イノベーション・アワード」について



ジャーナリズム・イノベーション・アワードとは、日本ジャーナリスト教育センター（JCEJ）主催により2015年1月に第1回目が開催された、ジャーナリズム作品の作り手と受け手が交流し、情報を発信することの大切さ、楽しさを共有する機会です。

ジャーナリズム作品の作り手と受け手が直接交流し、優れた作品をみんなの投票で選ぶ「ジャーナリズム・イノベーション・アワード」の第1回目を、新聞社、テレビ局、ネットメディア、フリージャーナリスト、研究者など、様々な組織や個人からユニークな作品を出展頂きました。会場はブースで埋め尽くされ、まるで文化祭のような熱気溢れるイベントになりました。

日本ジャーナリスト教育センター（JCEJ）では、2016年3月12日に、第2回目となる「ジャーナリズム・イノベーション・アワード 2016」を開催することになりました。

インターネットの登場で、「誰もがジャーナリスト」と言える時代がきた今、私たちはこのアワードを、組織や業界の垣根を越えて、切磋琢磨する仲間と出会い、語り合える場にしたいと考えています。ここでの出会いが、新たなジャーナリズムを作り出す動きにつながることを期待しています。

ジャーナリズム・イノベーション・アワード ウェブサイト：<http://jcej.info/jia2016/>